

38年前の思い出である。東ドイツのライプツヒで社会主義国中心の機械展示会が開かれた。私は商社の幹部と共に、機械の買い付けにオランダから車で向かった。西ベルリン経由で東ベルリンを抜けて会場へ入った。当時、日本で9千万円の機械が4千万円ほどで買えた。精度も良かったため、製造工場で直接購入した。電気回路だけドイツ製から日本製に変更してもらい、長く使用して十分に償却できた。会場にはベトナムや北朝鮮のブースもあった。私は日本側の制止を振り



社会主義国家の思い出

大垣精工会長 上田勝弘

切り北朝鮮ブースに入っ
た。警戒されたが、私は
月1回ソウルへ出張し、
朝鮮語を話せると伝える
と少し打ち解けた。帰り
際、金日成閣下にメッセ
ージを送ってほしいと言
われて困った。私は会話
はできても書くことはで
きない。訳してもらい「金
鋼山を世界に開放してほ
しいこと」「もっと多く
の国と交流してほしいこ
と」を伝えた。

10年後、金鋼山は韓国
の現代グループによって
開放された。しかし、ホ
テルから夜中に外へ出た
女性が北朝鮮兵にスパイ
と誤認されて射殺され、
開放は終わった。

2005年、北朝鮮開
城市に工場団地ができ、
韓国から友人の金さんが
進出した。私も技術顧問
として同行し、38度線を
越えて工場を見学した。
11社が進出し、自動車部
品や家庭用品を組み立て
ていた。北朝鮮の食堂に
は冷麺、キムチ、大同江
ビール、ウナギの天ぷら
まであり、日本や韓国と
変わらないと感じた。

同じ民族が仲良くすべ
きだと思う。しかし数年
前、管理事務所は北朝鮮
に爆破され、振り出しに
戻った。世界平和が遠い
今、残念な思いが残る。